

情報学ビジネス実践講座

IT、DX、AIと、これまで私たちの社会を大きく変えてきたデジタル・テクノロジーは、さらに加速して私たちの社会、企業、生活を変えていこうとしています。これから生きる学生のみなさんは、デジタル・テクノロジーの単なる利用者、消費者ではなく、それを開発運用することを通じて、新しい社会を創っていく役割を果たすことが期待されています。情報学ビジネス実践講座が提供する授業科目は、そのような実践的な学びにつながるよう、協力企業各社とともに開講します。ぜひご受講下さい。

世界的企業から実践的に学べる8科目を提供 (詳細は裏面)

各産業で日本を代表する企業からIT・DXの実践を学ぶことで、社会や企業で求められる能力を知ることができます。どのような分野・職種に進むとしても、この講座で獲得した視座はリーダー層人材に大きな強みとなるでしょう。

ITをつかむ (学部生向け)	多様な産業における「IT」の全体像を俯瞰で捉える 実践的な思考法と知識を学ぶ	①情報と社会 (前期・火曜5限) (協力企業: NTTデータグループ、ANAシステムズ、DMG森精機、東京海上日動システムズ、日本総合研究所、日本電気) ②ITシステム構築のためのロジカルシンキングとプロジェクトマネジメント (前期・水曜5限) (協力企業: 日本総合研究所、ANAシステムズ)
ITをつくる (大学院生向け)	ITの構築過程 (システム開発) を上流・中流・下流まで実践的に学習	③デザイン思考実践 (9/4、9/5) (協力企業: NTTデータグループ) ④ユーザー視点のITシステム設計実践 (9/22、9/24) (協力企業: 東京海上日動システムズ) ⑤AI技術利活用実践 (9/25、9/26) (協力企業: NTTデータグループ)
ITをつかう (大学院生向け)	イノベーションを主導する能力を習得	⑥ビジネスデータ分析実践 (9/1、9/2) (協力企業: 日本電気) ⑦人工知能特論 (11/8、11/14、11/15、11/22) (協力企業: 日本電気) ⑧ビジネスにおける情報学の実践 (8/28、8/29) (協力企業: ANAシステムズ、DMG森精機、日本総合研究所)

学部

4.5

情報学ビジネス実践講座とは

大学院

4.7

京都大学と協力企業6社 (ANA・ANAシステムズ、NTTデータグループ、DMG森精機、東京海上日動火災保険・東京海上日動システムズ、三井住友フィナンシャルグループ・日本総合研究所、日本電気) が実践的なIT教育の仕組みを検討し、2018年に産学共同講座を設立しました。この講座では、従来のIT教育に加えて産業界が求めるビジネスへの応用を学んで頂くことで、大学の共通カリキュラムに求められるITリテラシー教育を実現します。

【履修登録方法】学習段階や目的に応じて科目を選択し、KULASISで全学教育科目から検索して履修登録して下さい。複数科目の履修が可能です。経営管理大学院、情報学研究科の方は全学教育科目ではなく、各部局の提供する科目で登録して下さい。



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



京都大学経営管理大学院
Graduate School of Management, Kyoto University

実務協力: 国府高等教育院 附属 データ科学イノベーション教育研究センター

詳細／お問い合わせはコチラ

情報学ビジネス実践講座 事務局

E-mail: pib@gsm.kyoto-u.ac.jp

https://www.pib.gsm.kyoto-u.ac.jp



① 情報と社会

(学部生向け：前期・火曜5限、2単位)

主担当教員：藤田 特定教授 (経営管理大学院)

ITが社会や企業にもたらす影響を学ぶ！DXの基礎から最新技術動向まで、企業事例を交えて実践的に理解を深めます。IT戦略・企画・ガバナンス、セキュリティ・法務などを幅広く網羅し、IT経営の要点を習得。業務におけるIT活用の全体像を体系的に学び、実践的な知識を身につけたい方に最適です！

【教科書】



(京都大学学術出版会刊)

③ デザイン思考実践

(大学院生向け：9/4～9/5、各2限～5限、1単位)

主担当教員：藤田 特定教授 (経営管理大学院)

課題発見から解決までの思考プロセスを体系的に学ぶ！本授業では、注目のアプローチ『デザイン思考』を実践的に習得。グループワークを通じて、問題の本質を見極め、革新的な解決策を導くスキルを身につけます。ビジネスや研究に応用できる実践力を磨きましょう！

② デザイン思考実践、④ ユーザー視点のITシステム設計実践、⑤ AI技術利活用実践はそれぞれ、システム開発の上流・中流・下流の各工程を体験できるので、併せて受講することを推奨します。

⑤ AI技術利活用実践

(大学院生向け：9/25～9/26、各2限～5限、1単位)

主担当教員：前川 客員教授 (経営管理大学院)

AIやVRなどの最新デジタル技術を、ビジネスにどう活用するかを実践的に学ぶ！本講義では、技術の概要から企画・開発・活用までを体系的に習得。アジャイル開発やデザイン手法を学び、実際にアプリのプロトタイプを作成。未来のデジタルビジネスを創造するスキルを身につけます！

(情報学研究科での科目名は「先端技術利活用実践」)

⑦ 人工知能特論

(大学院生向け：11/8、11/14、11/15、11/22、2単位)

主担当教員：山本 教授 (情報学研究科)

人工知能の歴史から最先端技術、未来展望までを体系的に学ぶ！認識・分析・制御の観点から、理論と応用を実践的に習得します。ペイズ決定理論や機械学習、画像・音声認識、データ分析手法を網羅し、企業講師による実践的な知見も提供。さらに、各自の専門領域への適用を考察し、AIの可能性を探求します。AIを深く理解し、未来の活用を見据えたい方に最適な講義です！

② ILASセミナー：ITシステム構築のためのロジカルシンキングとプロジェクトマネジメント

(本講座協力科目)

(学部生向け：前期・水曜5限、2単位)

ITシステム構築に不可欠なロジカルシンキングとプロジェクトマネジメントを実践的に学ぶ！アルゴリズムやフローチャートを用いた演習を通じて、論理的思考と計算論的思考を習得。さらに、PMBOKに基づくプロジェクト管理手法をグループワークで実践し、計画立案から課題解決までのプロセスを体験。ITを活用した問題解決力と新たな価値創造を目指す方に最適な内容です。2回生以上も歓迎！

④ ユーザー視点のITシステム設計実践

(大学院生向け：9/22、9/24、各2限～5限、1単位)

主担当教員：村野 客員准教授 (経営管理大学院)

システム開発の成否を握る『要件定義』を実践的に学ぶ！本授業では、ユーザー視点でITシステムを設計するスキルを習得。デザイン思考で導いた課題を、アジャイル手法を用いて具体的なシステム要件へと落とし込むプロセスを体験します。ユーザーと開発者双方の視点を理解し、要件定義の重要性や陥りやすいミスを学習。さらに、実際に開発されたアプリをレビューし、システム設計の本質と実践力を身につけます！

(情報学研究科での科目名は「業務要件定義実践」)

⑥ ビジネスデータ分析実践

(大学院生向け：9/1～9/2、各2限～5限、1単位)

主担当教員：藤田 特定教授 (経営管理大学院)

データ分析の実践力を習得し、ビジネス課題を解決！本講義では、R言語を用いたデータ分析を学び、観光庁のデータ等を活用した演習を実施。相関・回帰分析などの統計手法を駆使し、データドリブンな意思決定を実践形式で学習します。最終課題では、分析結果を基に課題解決案を作成し、提案力を強化。データを活かした課題解決スキルを磨きたい方に最適な講義です！

⑧ ビジネスにおける情報学の実践

(大学院生向け：8/28～8/29、各2限～5限、1単位)

主担当教員：齊木 客員准教授 (経営管理大学院)

DX時代に必須のIT戦略を実践的に学ぶ！本講義では、ITが社会やビジネスに与える影響を理解し、AIやデータサイエンスを活用した経営戦略を学習。金融・航空・製造業のDX事例を通じて最新技術の動向を把握し、グループワークでIT戦略の策定を実践。企業経営層との対話やアイデアソンを通じてDXの応用力を強化。ITとビジネスの融合を理解し、DXを推進するスキルを磨く絶好の機会です！